

第55回 まちづくり研究セミナー

建築展 vol. 27 @門司港

日韓合同学生ワークショップ 2025. 10. 25-26

建築塾 2025. 10. 24-26

TIME SCAPE



『TIME SCAPE』

門司港は明治時代に、小さな漁村から特別輸出港へと大きく発展しました。

大陸との交易により栄え、多くの企業の建造物が建てられ、料亭や花街が賑わい、映画館が立ち並ぶなど街は人々で溢れかえりました。しかしながら、昭和に入り関門トンネルの誕生により新しい交通網から外れたことや石炭貿易の衰退などから、街は孤立化し経済成長から取り残されるようになりました。現在では門司港には、歴史的な建造物や港をはじめ、昭和の街並みや坂の地形など、街のアイデンティティを形作る特徴的なものが残る一方、他の地方都市と同様に人口減少や高齢化、生活インフラの老朽化などの問題を抱えています。

本課題では、時間をテーマとして建築・都市空間を考えてみたいと思います。

街並みは、その土地の風土の中で人間が集まって暮らし、時間の積み重ねの中で作り上げられます。

地形や気候、制度や建築、文化や営みなど様々なものが時間の変化の中に現れ、街の風景をかたちづくります。

時間の流れ・時代の流れとともに変容しながら持続するような建築と都市空間を考え、未来の門司港の街の風景を構想します。

| 日韓合同学生ワークショップ

課題 / Mission

門司港の街の時間の積み重なりを踏まえた上で、地域に必要なプログラムを構想し、街の未来をつくる建築・都市空間（街並み）のあり方を提案してください。

敷地 / Site

門司中央市場（周辺も含む）

プロセス / Process

1 街を読み解く（リサーチ、物語の構築）

街の歴史や都市構造、文化、営みなどを調査・分析し、地域の時間と連続するような物語を構築してください。

2 プログラム

リサーチから、この場所にふさわしいプログラムを考えてください。閉鎖的なものではなく、地域に開かれたものとしてください。

3 時間を内包した建築・都市空間（空間の提案）

歴史の継承とこれからの未来をつくるような建築・都市空間を考えてください。計画する建築単体だけではなく、提案によって周辺がどのように変わるかも考えてください。対象敷地の既存建物は取り壊しても、改修しても可とします。周辺もまとめて提案しても可とします。

日程 :

| 日韓合同学生ワークショップ

8/16(土) 10:00-12:30

課題説明会+ショートレクチャー
@ZOOM

10/25(土) 13:00-18:30
講演会+ワークショップ
@旧大連航路上屋

10/26(日) 9:45-17:00
最終講評会
@旧大連航路上屋

| 建築塾

8/16(土) 10:00-12:30

課題説明会+ショートレクチャー
@ZOOM

10/24(土) 13:00-18:00
開会式+ワークショップ
@旧大連航路上屋

10/25(土) 13:00-18:30
講演会+ワークショップ
@旧大連航路上屋

10/26(日) 9:45-17:00
最終講評会
@旧大連航路上屋

講師 :



2024年度 JIA 新人賞受賞

玉田脇本建築設計事務所
MAKOTO & WAKIMOTO ARCHITECTS

玉田 誠
MAKOTO TAMADA

脇本 夏子
NATSUKO WAKIMOTO

参加予定校 :

- ・北九州市立大学
- ・九州女子大学
- ・東洋大学
- ・金城大学
- ・九州工業大学
- ・近畿大学（福岡キャンパス）
- ・東西大学
- ・慶應大学
- ・九州産業大学
- ・日本文理大学
- ・釜山大学
- ・東義大学

【主催】まちづくり研究セミナー事務局
（公社）日本建築家協会九州支部北福岡地域会
【共催】北九州市
【協賛】（公財）北九州観光コンベンション協会
【問い合わせ】info@jia-akita-fukuoka.org

九州支部
北福岡地域会員

浅田 典生
安東 崇夫
安東 秀夫
石垣 充
石川 哲夫
石塚 直登
瓜生 雅勝
衛藤 衛
小川 宏
小原 光晴
加藤 史衛
金子 英造
久保 久保
久保 久保
熊谷 直一
後藤 平一郎
佐藤 友哉
佐藤 治
佐藤 真紀
佐藤 直人
塩釜 和久
高濱 戸村
高濱 豊川
高濱 永澤
高濱 中條
野田 一樹
野田 豊子
田服 正哉
田服 雅文
幸田 良樹
幸田 展淳
福田 明広
藤本 孝行
藤本 弘一
古森 逸人
松島 靖史
三迫 満井
白川 輝吉
杉野 直行
鈴木 友紀
鈴木 基正
平 高島
高島 千年
高瀬 松之助
高瀬 雅彦

（公社）日本建築家協会
九州支部北福岡地域会
国際支援活動支部助成事業
事業

